

次年度に向けての取組目標と具体的な取組の方策

平成28年度取組目標と方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[1] 教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・真摯で積極的な勉学姿勢の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課外，夜課外，放課後課外，そしてよる学習の精選を図る。 ・新型センター試験に対応したカリキュラムの運営を通じて，真の学力，教養を身に付けさせる。 ・英語力の更なる向上と共に，主要教科の学力向上に努める施策を行う。 ・教師一人ひとりの授業に対する考え方を改善し授業力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週の教科主任会議を通じて精選を図る。 ・授業力を改善するための教科内研修の活性化
[2] 教科指導 (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的教科指導の推進による進路目標への到達 ・授業力の向上 ・新型センター試験への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの見直し，6年間を通じた総合学習のあり方を再検討し国立後期型の学力の育成を図る。 ・学習結果のデータ管理を徹底し，常に全国レベルでの比較をし，国内私立の上位を目指す ・公開授業，研究授業の機会・取り組みを拡大し，教員が互いに良いところを学び合える場を更に多く用意したい。 ・前期課程の新カリキュラム充実 	<ul style="list-style-type: none"> 新任教員研究授業の実施 教科主任会を毎週実施 定常的な教員研修
[3] 学校生活への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの撲滅 ・足並みの揃った生徒指導の実行 ・マナー指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態調査と平素の学年指導，面接指導を合わせて予防する。 ・学年生活指導部担当者の役割を明確にし，それぞれの学年において全体の意識を浸透させていく。 ・マナーアップ委員会，生徒指導部だけでなく学年とも連携を深めたマナーの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査年2回実施。 ・月に1度を目処に随時実施 ・月例指導を含め年間計画に沿って随時実施する。
[4] 生徒会・部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実 ・部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係委員会，生徒会だけでなく一般生徒にも協力体制を築いていく。 ・運動部40%，文化部20%の加入を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度末より各委員会を積極的に動かしていく。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[5] 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・三大進路の確立 日本大学進学 難関大学進学 海外大学進学 特に国立大学合格者を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に進路意識を自覚させる（前期課程3年生の大学訪問を継続する） ・後期課程の生徒のオープンキャンパス参加の推進 ・担任・教科担当者が随時進路相談にのりつつ、情報共有できるようにする。 ・学習－進路－学年での連携を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の基本方針を早期に教員に示し、学年の計画と連動させながら実施していく。
[6] 保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な健康診断の実施 ・健康管理の支援 ・教育相談の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護をマニュアル化して安心して保健活動が出来るようにする。また、健康診断等でのプライバシー保護を徹底する。 ・コンピューター処理の作業効率を改善させる環境整備をする。 ・前期課程、後期過程生徒の生活に関する調査結果を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より取組む。 ・いじめ防止対策委員会で情報を共有する。 ・生活アンケートの実施
[7] 図書	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚資料の刷新と充実 ・図書館利用率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録媒体の変更に伴い、視聴覚資料の買い直しを図っていく。教科で利用する資料は先生方の意見を参考に購入して授業で活用できる資料の充実を図る。 ・ドキュメンタリー資料や教養、人権問題といった社会科学の分野の視聴覚資料を増やし、利用率の促進を図る。 ・利用頻度の高い新書および時事関連資料を増強し提供する。 ・広報誌の継続的発行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の購入については、時期や出版状況を確認しながら順次取り組んでいく。 ・活性化した図書委員の活動を継続発展させる。
[8] 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・入試の検討 ・先生方の意見の反映 ・情報発信の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する中学入試の状況に即応した入試制度の検討。 ・学校見学会や学校説明会の内容を検討して新企画を提案し、学年や各校務分掌との連携強化を図る。 ・ホームページの充実（学校生活が垣間見られるタイムリーな情報の提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初より取組む。 ・参加動向を見越して、早期に準備する。
[9] 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針の浸透 ・校務分掌機能の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己点検評価結果を効果的に活用する。 ・校務分掌の連携と再構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、計画的に行う。

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
<p>[10] 庶務</p>	<p>入学式，卒業式， 護者と教師の会 等の総会，奨学金 環境美化などは従 来以上に推進</p> <p>・防災，安全，危機 管理などの強化 ・避難訓練の充実</p> <p>・同窓会活動の活性 化</p>	<p>・年度ごとの新しい消防・防災計画を策定， 所定の機関にも提出し，教職員や生徒にも 徹底し，PDCA をしっかり執行する</p> <p>・部署と連携し，保護者と学校の連絡体制 を緊密なものにして，事故などに即座に応 できるようにする。 ・避難訓練を複数回実施</p> <p>・ホームカミングデーなどの取り組みを契 機とし，同窓会との協議をすすめ，組織や 事業計画の活性化を促進する。</p>	<p>・年度当初より， 可及的速やかに取り 組む。</p>